

2021.3.26 (9:20開会、Web開催)

医療安全管理 (9:30-10:30)

あなたの医療機関ではどのように対応しましたか？

安全対策に係る最近の通知・事務連絡（厚労省）の要点と現場対応の実際

東北大学病院 特命教授 藤盛啓成

病院管理 (10:40-12:30)

患者・家族による暴言・暴力：組織的対応の基礎知識

1. 組織的対応のありかた：診療・入院規程の整備から、裁判所手続を想定した対応まで
札幌弁護士会 弁護士 浅野綾子

2. 暴言・暴力と刑法：暴行、傷害、脅迫、業務妨害、器物損壊、わいせつ、ストーカー
東京第二弁護士会 弁護士 池田守

臨床倫理 (13:30-15:10)

1. 死ぬ権利はあるか：安楽死、尊厳死、自殺補助の是非と命の価値
横浜市立大学都市社会文化研究科 准教授 有馬斉

2. 京都ALS患者囑託殺人事件：積極的安楽死の要件と本件に係る若干の管見
慶應義塾大学大学院 教授 前田正一

臨床研究とガバナンス(15:20-16:20)

非倫理的な研究の歴史と今日の研究規制の要点、間もなく告示される新指針

慶應義塾大学大学院 教授 前田正一

会員報告 (16:30-)

オンデマンド形式で実施します。3月上旬にプログラムを掲載します。

参加費 (両日分)	会員	申し込みと同時入会者 (年会費は2020・2021年度分とみなします。)	非会員
早期申込 3月16日まで	5000円	8000円(参加費:5000円/年会費:3000円)	8000円
直前申込 3月23日まで	6000円	9000円(参加費:6000円/年会費:3000円)	9000円

※ ご入金後は、不参加の場合でも返金をしませんのでご了承下さい。

医療事故・紛争対応研究会 第14・15回年次カンファレンス

2021.3.27 (9:30開始、Web開催)

特別講演 (9:30-10:30)

医療安全対策をめぐる過去30年間の総括と今後の課題：社会の視点

日本経済新聞社 東京本社 編集局 社会部 記者 前村 聡

医療安全管理 (10:40-12:30)

1. 医療安全
あなたの医療機関では適切な管理ができていますか？
安全管理に係る多くの継続課題：病院機能評価 訪問審査を通じてわかること
日本医療機能評価機構 統括調整役 栗原博之

2. 事故対応
医療事故の社会への情報開示：その意義と、安全管理者が備えておくべき知識・技法
日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長 入田和男

総合検討:医療記録を巡る実務上の課題 (13:40-15:40)

1. 医療記録の臨床上の意義と記載のあり方
国立病院機構 姫路医療センター 嶋崎明美

2. 職員教育のあり方：医療安全管理との関係から
北海道大学病院 副院長 南須原康行

3. 診療・看護記録等に係る裁判例：記載内容に対する裁判所の評価
札幌弁護士会 弁護士 坂本大蔵

4. 医療記録に係る証拠保全の実際と対応のあり方
札幌弁護士会 弁護士 坂本大蔵

教育講演 (15:50-16:40)

診療・看護等で得た医療情報とヒト由来資料の取扱いに係る論点整理と現場での注意点
早稲田大学大学院法学研究科 原田香菜

総会 (16:50-17:10)

申込方法：①当研究会ホームページからのお申込み (<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/>)
② F A X によるお申込み (別紙の申込用紙をご利用ください。)
参加URL：申し込み後にメールでお知らせします。
問合せ先：FAX:020-4664-1995 / E-mail:infosmcm-group@umin.ac.jp